

Shimizu Port News

第88号—平成25年4月号—

～愛され、選ばれる港へ～
静岡県清水港管理局

清水港管理局長よりごあいさつ

今年度、新たに清水港管理局長として赴任してまいりました原です。

～使いやすい港～

清水港は、日本のほぼ中心に位置し、東名高速道路・国道1号などの交通の大動脈が大都市圏と直結しており、交通結接点に位置していることから、24時間以内で日本全国にアクセス可能な大変便利で使い易い港です。

更に、昨年4月には新東名高速道路の静岡県部分が開通し、災害時のリスクも従来に比して格段に軽減するとともに、定時性・代替性も飛躍的に向上しているところです。日本列島を南北につなぐ中部横断自動車道も着々と整備が進んでいます。

本年5月下旬には、現在整備中である新興津埠頭第2バースの一部も供用が開始される予定であり、免震構造のガントリークレーンも設置され、コンテナ取扱個数の増加やコンテナ船の大型化に対応していきます。

今後も、開かれた国際港湾として、一層使いやすい港を目指してまいります。

～安心・安全な港～

従来から、東海地震やそれに伴う津波の発生が危惧されており、港背後の住民を津波から守るという側面と、港湾運営の継続という両面から、防潮堤等の整備、津波防災ステーションによる水門・陸閘の管理一元化、港湾BCPの作成等を進めてきたところです。

県では、一昨年の東日本大震災の教訓を踏まえ、津波高等の推計を進めているところであり、より一層安心・安全な港とするようスピード感を持って対応していきます。

※ BCP・・・災害などリスクが発生した時に、重要事業の継続について戦略的に準備しておく計画

～にぎわいのある港～

市民の生活圏と隣接している清水港は、古くから市民の「憩い・交流」の場として親しまれてきました。観光客や市民も利用する複合商業施設や水上バス発着場もあり、多くの人々で賑わっています。

当港では、企業や地域の方と連携し、「清水港みなと色彩計画」を20年以上にわたって取り組んできました。周辺施設はシンボルカラーである白とアクアブルーを基調に塗り分けられ、富士山のある風景とマッチした世界的にも大変美しい港となっています。

また、外国客船の寄港や、秋の風物詩となっている帆船のセイルドリルは、港の趣きに一層の彩りを添えています。皆様もぜひこの港を身近に感じ、訪れてください。

世界への窓口である清水港は、富士山静岡空港とともに、人・物の交流の拠点であるだけでなく、すぐれた景観と歴史的遺産をそなえ、観光・レジャーなど、そこに集う人々に憩いや癒しを与えてくれる場でもあります。

今後も、物も人も集まる、皆様に愛される港を目指して、日々努力してまいります。



「県道223号」開通！！



ふじさん

清水港と伊豆市の土肥港を結ぶ海上ルートが、12日、「県道223号」に認定されました。駿河湾フェリーの航路と重なるため、清水港日の出埠頭において、フェリーの渡り初め式が行われました。式典後、参加者と地元幼稚園児が、乗船者と紙テープをつなぎ、県道“第1便”となるフェリーの出港を見送りました。

船長から乗船者へ花束贈呈



「県道223号」看板

フェリー出港



客船情報

平成25年客船等入港情報 (H25.4.25現在)

入港日	出港日	船名
6/8 (土)	6/8 (土)	につぼん丸
6/13 (木)	6/13 (木)	につぼん丸
10/17 (木)	10/21 (月)	帆船日本丸



につぼん丸



帆船日本丸

※入港は予定であり、変更されることがあります。
入港時刻等詳細は、清水港管理局HP (<http://www.portofshimizu.com>) または
清水港客船誘致委員会HP (<http://www.shimizu-port.jp>) でお知らせします。

フラスターショー&インポートバザール!

平成25年5月25日(土)26日(日)に清水マリンターミナルにおいて、「フラスターショー&インポートバザール」が行われます。
管理局では清水港見学会を開催する予定です。清水港管理局巡視艇「ひので」に乗船し、清水港内を周遊します。
日程など詳しいことが決まりましたら、ホームページ等でお知らせします。



♪みなさまからのご意見やお問い合わせはこちらまで♪
〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-25 清水港管理局 企画振興課
TEL054-353-2203 FAX054-354-0380
e-mail : port@mail.wbs.ne.jp

